

現代日本語研究会 2024 年度研究集会プログラム

開催日時：2024 年 6 月 30 日（日） 9:30～14:15（日本時間）

開催方法：オンライン（Zoom 使用）

参加費：無料

参加申込フォーム：<https://forms.gle/ttgHhx5kHS6KXjRq8>

参加申込締め切り：6 月 27 日（木）

<プログラム>

9:30～9:40

開会の辞

本田明子（現代日本語研究会代表）

9:40～10:10

【A-1】日本人社会人を対象とする非言語コミュニケーションに関する意識調査

叶暁峰（早稲田京福語学院/東京福祉大学）

【B-1】ヒマ節におけるテイル形について

黄勇（浙江師範大学）

10:15～10:45

【A-2】中国人女子大学生のテキストチャットにおける「怼（dui）」の受け手の言語行動について—非対称的反応を中心に—

方敏（東華理工大学）

【B-2】『坊っちゃん』の児童向け及び日本語学習者向けのリライトにおける文章のやさしさとわかりやすさ—統語面を中心に—

湯浅千映子（大阪観光大学）

10:55～11:25

【A-3】「大学生の初対面交流会話における参加者の調整行動—母語場面と接触場面の先輩と後輩の関係性に注目して—

小林友美（立教大学）

【B-3】「でござる」の統語機能の変化に関する一考察

劉天陽（岡山大学大学院）

11:30～12:00

【A-4】 予備的装置としての「デハナイカ」：連鎖組織の視点から

梅村弥生（千葉大学大学院）

【B-4】 現代日本語における外来語造語成分の分類

王雨（東北大学大学院）

13:00～13:30

【A-5】 課題解決場面における不同意の談話展開一日中母語話者の比較を通して―

王昌（筑波大学大学院）

【B-5】 「硬さ」を表すオノマトペの意味拡張について―「ゴリゴリ」を例として

葉書辰（筑波大学大学院）

13:35～14:05

【A-6】 SNS を用いたテキストメッセージに伴う感情の表出について―日本語母語話者とマレー語母語話者の比較―

稗田奈津江（筑波大学）

14:05～14:15

閉会の辞

現代日本語研究会 2024 年度研究集会プログラム

9:30～9:40	開会の辞 本田明子（現代日本語研究会代表）	
	A 会場	B 会場
9:40～10:10 口頭発表 1	日本人社会人を対象とする非言語コミュニケーションに関する意識調査 叶曉峰（早稲田京福語学院/東京福祉大学）	ヒマ節におけるテイル形について 黄勇（浙江師範大学）
10:15～10:45 口頭発表 2	中国人女子大学生のテキストチャットにおける「愁（dui）」の受け手の言語行動について —非対称的反応を中心に— 方敏（東華理工大学）	『坊っちゃん』の児童向け及び日本語学習者向けのリライトにおける文章のやさしさとわかりやすさ —統語面を中心に— 湯浅千映子（大阪観光大学）
10:55～11:25 口頭発表 3	大学生の初対面交流会話における参加者の調整行動 —母語場面と接触場面の先輩と後輩の関係性に注目して— 小林友美（立教大学）	「でござる」の統語機能の変化に関する一考察 劉天陽（岡山大学大学院）
11:30～12:00 口頭発表 4	予備的装置としての「デハナイカ」：連鎖組織の視点から 梅村弥生（千葉大学大学院）	現代日本語における外来語造語成分の分類 王雨（東北大学大学院）
12:00～13:00	昼休み	
13:00～13:30 口頭発表 5	課題解決場面における不同意の談話展開 —日中母語話者の比較を通して— 王昌（筑波大学大学院）	「硬さ」を表すオノマトペの意味拡張について —「ゴリゴリ」を例として 葉書辰（筑波大学大学院）
13:35～14:05 口頭発表 6	SNS を用いたテキストメッセージに伴う感情の表出について —日本語母語話者とマレー語母語話者の比較— 稗田奈津江（筑波大学）	
14:05～14:15	閉会の辞	